

---

# 魔法少女リリカルなのは-幸福の黒 星(ブラック スター)-

優氣凛々

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは - 幸福の黒 星（ブラック スター） -

### 【Nコード】

N5302BA

### 【作者名】

優氣凛々

### 【あらすじ】

少年は、周りに不幸を撒き散らす不屈き者……

少年は…不幸の痛みを知っている。

そんな少年を…神は憐れみ、少年に幸せな人生を与えることにした。

少年は…人を”幸せ”にするためにひた走る。

これは、そんな少年の…最高で、最<sup>さいこう</sup>幸な人生を綴った物語である。

オリジナル転生×魔法少女リリカルなのはの小説です。

苦手な方は回れ右で

ちなみに、オリジナル主人公の容姿は「ソウルイーター」のブラック スターとします！

ブラック スターのイメージを崩したくない方は閲覧しないことを  
推します。

## 《プロローグ》（前書き）

さあ、紡ぎましょう。不幸な少年の物語を……

魔法少女リリカルなのは - 幸福の黒 星 -  
始まり始まり～

## 《プロローグ》

- ??? ? side -

俺はいつも日々を”どうでも良く”過ごしていた。

なぜ？まず、俺は特に人付き合いが上手い方じゃなければ、特にこれという特技とか秀でたものを持ってないからな。  
故に友達も居なきゃ、仲良しな奴なんて居ない。

さらに付け加えるなら、俺には”親”というものを知らない。

物心ついた時には…既にいなかったからな。いわゆる”天涯孤独”  
って訳だ。

そして孤児院に引き取られ、大体7年、小学6年くらいになるまで  
過ごしたが……

孤児院が火事に遭った。放火事件に巻き込まれたらしい。子供たちが  
炎に囲まれ、中毒を起こして死んだ奴等が殆どだと言っのに……

俺が奇跡的に生き延びてしまった。

まあ、長ったらしく話したくないから結論を言っと……

俺は周りを”不幸”にしちまうらしい。これが”どうでも良くなる”理由だ。

そして、一人暮らしを始めて5年、現在高校2年になった。

~~~~~

「はぁ……今日もみんな仲良しなこつたぁな……」

現在、俺はいつも通り高校から帰るところだった。

高校は居心地が悪い。コミュニケーション取れたの、友達を作るだの……知ったこっちゃない。

「さて……また図書館にいつてみようか……!……!……!」

俺はいつも学校のあとは図書館に行く。

あそこは良い。静かで、何か自分の時間を過ごせるからな。あの空気が気に入ってる。

そんなわけで図書館に向かう途中……目にしたのは……

少女が道路を飛び出してボールを追いかけてく。その真正面には……

「……！！！！！！」

な……！？4トントラック！？

あんな当たったら……女の子が……

俺は周り迷惑を撒き散らす不届者……  
だから、今度は……

「俺が……あの女の子の……」

女の子の不幸を背負ってやる！！！！」

そういつて俺は……女の子の元に走り、突き飛ばす。

ふとトラックを見れば、運転手は夢うつつ。居眠り運転らしい。

何か、最後に良いことしたら…冷静になったなあ…

「……もう、誰も不幸にしたくねえ…」

そう呟き、俺の……

最悪で、最低で……ちよっぴり幸せな人生が……一瞬の鈍痛と共に終わりを告げた。

俺の目に最後に写ったのは……血のように赤い夕暮れだった。



## 《プロローグ》（後書き）

優氣凛々のボヤキ

ハイハイ、皆様の言い分わかります。

駄文なのに意味わからん、とお思いなんですよ？

こうしないと…テストに殺される…

気分転換に作りました

そんな優氣凛々を…生暖かな目で見守ってやっておくんなまし！！

## 第一話「神様」（前書き）

どうも……！連投します……！

一応今日中に第二話まで行けたらな～と思います……！

## 第一話「神様」

？「……………ここ、何処？」

目が覚めてみると、そこは木々が生い茂った森の中だった。しかも、五体満足で。

確か俺は……………さっき、女の子を庇ってトラックに跳ねられた……………はずだ。じゃあ……………ここは……………

男「ここは”御霊の森”、天国と現世の狭間だ。」

？「っ！……誰だ……！」

声の方を振り向けば……………

布地をそのまま巻き付けただけの服に、金髪で長い髪、青い瞳に……………極めつけに純白の翼に頭にリング引っ付けたイケメン兄さんがいた。

男「イケメン？ふっ……モテる男は辛いぜ！」

？「あんたは誰だ？それに、いくらなんでも俺にはそっちのケはねえし、さりげなく心読むな。」

男「俺にもそっちのケはねえよ！！変な解釈すんな！！あと、質問多いわ！！！」

イケメン兄さんはどこからともなくハリセンを出して俺をぶっ叩いた。……ハリセンの出所が気になる……地味に痛いし……

男「それは企業秘密だ！ハッハッハ！！！」

？「あつそ。で？あんたは誰だ？」

男「……。まあいつか！聞いて驚くなよ？俺は………”神”だ！！！」

……ああ、なるほど。

？「さつき”御霊の森”っていつてたしな。」

男「おお！！！お前すげえな！！一発で信じたのh「頭がおかしくなつてたのか。」なんでそうなる！？俺は本物だバカタレ！！」

？「冗談冗談、もう死んだ時点で割りきってる。」

男「……………」

俺は今、多分憂いの混じった笑顔になってると思う。神様…は悲しそうな目で俺を見ていた。

神「………… お前には…悪いことしちゃったな。あんな人生……………ほとんど生きた心地しなかったろうに……………」

？「良いんだよ。最後に良いことできたし、あの女の子がぶじなら……………万々歳だ。」

そう、俺にとってあれは人生で最初で最後の”良いこと”であつて、”幸せ”を感じた瞬間だった。これ以上は……………いらねえ。

神「いや、お前は幸せなんて感じてねえし、何より俺の気が収まらない！」

そこでお前には…転生してもらおう！…！」

？「……は？」

今こいつなんつった？転生？…いやいや、そんな都合の良いことねえし、同じ所は……

神「本当だ！きっちり転生させてやる！記憶もそっくりそのままな？それから、転生してもらおう世界は………お前の世界じゃねえ。」魔法少女リリカルなのは”の世界だ！」

？「…は？魔法少女リリケム？」

神「”リリカルなのは”だ！…！…！…！…！…！知らないのか？」

？「知らん。」

神は落胆した顔をした。そりゃ、死ぬ前はそこまでそんな…えと…  
…ケセラムなにか？

神「リリカルなのはだ！！！！」

…とにかく、そういうのに興味がなかったからな。…てか、黙った  
まんま会話成立してるし…

神「とにかく！お前をリリカルなのはの世界に転生させるからな！  
」

？「…なんでまた俺をそんな所に行かせたがる？理由があんのか？」

神の顔に、どうしようもない悲しみが溢れた。

神「不幸な女の子たちを助けて欲しい……………俺は、お前には幸せに  
なつて欲しいが……

彼女等にも……幸せになつて欲しいんだ。

頼む！！俺は、お前にしかできないと思ってるんだ！！この通  
りだ！！！！」

？「……………」

不幸な女の子……か。

どう不幸なんだか知らないが……俺はもう、人の不幸は……見たくねえ。

？「わかった。俺に何が出来るか知らんがな、出来る限りの努力はしてみようじゃねえか！」

神「…やって…くれんのか？」

？「ああ。ただ、その世界には”魔法少女”って言うんだから魔法が必要なんだろ？何かくれんのか？」

神の顔がみるみるうちに明るくなっていく。…ゲンキンだな…

神「ほんとか！…！ありがと…！！」

安心しな！！お前には魔法よりすげえ力やつから！！

ちよつと頭借りんぜ？」

神が俺の頭に手を置いた。すると……………



？「……がつ……アアアアア！！！！頭……頭があ！！！！」

頭が……割れるほどに痛くなると同時に、凄まじい量の情報が入りこんでくる……

神「すまねえ……辛抱してくれ！！一応、情報を一通りいれてから転生させるからな！！気づいた時には転生してるようにしとくぜ！！！」

？「あ……が……勝……手に……決めや……がつ……て……」

そこで俺の意識が真っ暗になった。

神「……頼んだぜ……”かみかぜ神風みくろ御黒”」

神の言葉を最後に……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5302ba/>

---

魔法少女リリカルなのは-幸福の黒 星(ブラック スター)-

2012年1月14日19時45分発行